

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月18日

計画の名称	富山駅を中心とした都市拠点の整備												
計画の期間	平成29年度～平成33年度(5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	富山県												
計画の目標	富山県の県都の玄関口としてふさわしい、賑わいのある魅力ある駅周辺の整備を行う。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,157	A	2,157	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)
1	在来線高架化の実施により、富山駅周辺の歩行者交通量を約30,000人(H28)から約32,000人(H33)に増加させる。 富山駅周辺の調査6地点の歩行者交通量(休日)	30000人	32000人	32000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H29	H30	H31	R02	R03			
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	富山県	直接	富山県	S街路	改築	あいの風とやま鉄道線等	連続立体交差 1.85km	富山市	■	■				2,157	1.6	—
											小計						2,157		
											合計						2,157		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

富山県土木部都市計画課

事後評価の実施時期

令和3年3月

公表の方法

富山県のホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・ 在来線の高架化に伴い駅周辺の整備が行われたことにより、魅力が向上した。
- ・ 路面電車が高架下で南北接続したことで、富山駅における交通結節機能が強化され、公共交通の利便性が向上した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き連続立体交差事業の一日も早い完成を目指して事業進捗に努める。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	32000人	北陸新幹線の開業に続き、在来線の高架化が完成したことにより、駅周辺の賑わいが創出されたためと想定される。
	最終実績値	34950人	

参考図面（社会資本整備総合交付金）

